

平成29年度 篠山市学校運営協議会の総括

平成30年3月26日 篠山市教育委員会 学校教育課

1 学校運営協議会の会議日数（単位：校数）

学校運営協議会の会議日数	小学校	中学校	特別支援学校
3回	8	1	0
4回	5	3	1
5回	1	1	0

- ※ 会議以外にも、学校行事（入学式・卒業式・運動会体育祭・学習発表会文化祭など）やオープンスクールへの招待時等、随時意見を聴取している。
- ※ 26年度からコミュニティ・スクール事業研究校として、小学校3校、中学校1校を指定し、27年度は、小学校11校、中学校2校で学校地域運営協議会を開催した。
- ※ 28年度は、全ての学校が、学校地域運営協議会を設置し、推進した。
- ※ 29年度は、全ての学校が、教育委員会規則に基づく学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール指定校となった。

2 29年度の取組のまとめ並びに報告書より（参考資料）

《 主な協議事項 》

- ・ 学校教育目標・経営方針に関すること (全校が実施)
- ・ 学校評価に関すること (全校が実施)
- ・ 地域との連携協力に関すること (全校が実施)
- ・ 教育課程・学力の定着に関すること (ほとんどの学校が実施)
- ・ 学校の危機管理・児童生徒の安全管理 (ほとんどの学校が実施)
- ・ 学校行事に関すること (ほとんどの学校が実施)
- ・ 学校の施設設備の充実に関すること（学校安全点検も含む） (ほとんどの学校が実施)
- ・ 学校運営協議会「コミュニティ・スクール」に関すること (ほとんどの学校が実施)
- ・ 次年度への課題と志向に関すること (多くの学校が実施)
- ・ ふるさと教育に関すること（学校のヒーローも含む） (多くの学校が実施)
- ・ 特色ある学校づくりに関すること
- ・ 特別支援教育に関すること
- ・ 生徒指導・進路指導に関すること
- ・ 学校給食に関すること（試食も含む）
- ・ 保護者アンケート調査に関すること

《 特に特色ある取組 》

- ・ 学校のシンボルであるプラタナスの復活について協議し取組を実施する。(篠山小学校)
- ・ 学校運動会・校区運動会のあり方を協議し、来年度の方向性を決定した。(八上小学校)
- ・ 5つのサポート事業（あいさつ・環境美化・安全安心・地域活性化・学力向上）として組織的な取組を実施した。(城北畑小学校)
- ・ 漢字検定を企画・実施した。(岡野小学校)
- ・ 児童の登下校の安全確保について、アンケート調査を実施した。(西紀南小学校)
- ・ 委員がふるさとの良さを学ぶ全校朝会の講師となった。(西紀小学校)

- ・ 学校地域一体型の行事（運動会等）を実施した。 (西紀北小学校)
- ・ 委員がゲストティーチャー（農業体験・食育・伝統文化・歴史・林業体験）として学校を支援した。 (大山小学校)
- ・ ふるさと講演会「日本遺産伝承教室」を主催事業として実施した。 (今田小学校)
- ・ 委員参加による環境美化作業を実施した。 (篠山中学校)
- ・ 創立20周年記念事業の企画運営を行った。 (篠山東中学校)
- ・ ボランティア、地域貢献活動の引率指導等に委員が関わり、教職員の業務改善に繋がった。 (西紀中学校)
- ・ 創立70周年記念空撮事業の企画・運営を行った。 (今田中学校)

《 成果について 》

(1) 学校運営について

- ・ 学校運営について意見聴取を学期に1回実施することで、速やかに委員の意見を学校運営に反映することができた。
- ・ 委員の意見は広い一般社会の意見として、多様な意見を学校運営に取り入れることができた。
- ・ 学校支援活動を定例化していくことにより、地域住民が学校行事に参加しやすくなった。
- ・ 学校運営や教育活動に対する意見やアドバイスを頂き、学校を全面的にバックアップして頂ける組織に成長してきている。また、特別支援学校の実態を理解して頂く機会が広まっている。

(2) 教科等の学習について

- ・ 学校運営協議会の方々の協力により、教科学習内容の充実につながった。
- ・ ふるさと教育やキャリア教育の推進において、学校運営協議会委員の支援により、様々な地域講師を招いて学習を進めることができ、学習の充実を図ることができた。
- ・ 地域講師を招聘し地域教材を導入することによりふるさと教育の推進につながった。
- ・ 研究授業発表会にも参加いただき、学校の研究をよく理解していただけた。

(3) 地域連携について

- ・ 運営協議会が、学校と地域、各種団体等とのパイプ役になり、充実した連携が行えた。
- ・ 地域の方が大変協力的であり、地域と連携した取組が拡大・定着してきた。
- ・ 地域の方が参加出来る機会を多く持たせたことで、学校に対する保護者や地域の理解が深まった。
- ・ 学校運営協議会の活動が活発になり、学校と地域とのつながりが強まった。
- ・ 地元で活躍する若い世代との交流や地域貢献活動を通して、生徒たちが未来像を感じとり、愛郷心を高めている。
- ・ 生徒にとって、地域に貢献できる喜びを感じる機会となり、参加意欲が高まった。

(4) 学校安全について

- ・ 通学路や登下校の状況等を地域に把握していただき、連携する場として活用できた。
- ・ 学校運営協議会委員による安全点検の結果をもとに、危険箇所の改善等ができた。
- ・ 地域・保護者の意見も取り入れながら、緊急災害対応や防災マニュアルについて話し合い、今後の協力体制の足掛かりができた。

(5) その他

- ・ 学校の取り組みについて理解を深めてもらったことで、学校関係者評価が効果的に行えるようになった。
- ・ 学校環境整備活動により、大きな予算をかけることなく整備できた。
- ・ コミュニティスクール研修会等に積極的な参加があった。

- ・年度当初に年間の活動計画を検討することによって、委員の意識が高まった。

《 課題について 》

(1) 協議会運営について

- ・長期的な展望の中で、本事業の継続及び充実と、学校運営協議会の趣旨及び事業の地域や保護者への更なる啓発が必要である。
- ・事業を継続していくことに意味があるが、年数を経るに従って形骸化しないような工夫が必要である。
- ・まちづくり協議会へ参画を依頼するなど、組織づくりについてさらに検討していく必要がある。
- ・学校主導ではなく、コミュニティスクール主導にしていきたい。

(2) 学校行事との兼ね合いについて

- ・地域の方の個々の要請にすべて応えるのではなく、学校教育目標や目指す児童の姿などについて学校が積極的に発信し理解を求めた上で、児童の資質能力の向上のための連携が必要である。
- ・1年目の取組をもとに活動の計画を行ったが、教育課程や学校行事との調整をさらにすすめていく必要がある。
- ・地域の提供と学校の要望をすりあわせる部会等を、今後発足させる必要がある。
- ・次年度以降の継続的な取組を目指し、目的を絞り、見通しを持って企画することが重要である。

(3) 協議会開催について

- ・10月は委員が集まりにくかったので、来年度は農繁期を外して日程を設定するようにする。
- ・協議会の開催日について、委員の日程調整が難しい。
- ・昼間に協議会を持つことは委員の都合がつけにくく、日程調整が難しい。また、欠席者が多くなる。

(4) 授業参観等について

- ・授業の様子を見学するなど、日常の生徒の様子を参観することを通して意見を述べる機会をつくる必要がある。
- ・授業、学習支援活動（地層学習会・解説ガイド・がんばりタイム）へ更にひろげていく。

(5) その他

- ・地域の資源としてすでにバンク登録された「地域のエキスパート」を有効活用するための仕組みや、地域住民や教職員に負担をかけずに取り組む仕組みをつくること。
- ・活動中の事故やけがの防止と対策など、危機管理を確保する。
- ・校区が市内全域となるため、地域（校区）との連携という点では課題が多い。（特別支援学校）

3 教育委員会からの助言及び指導

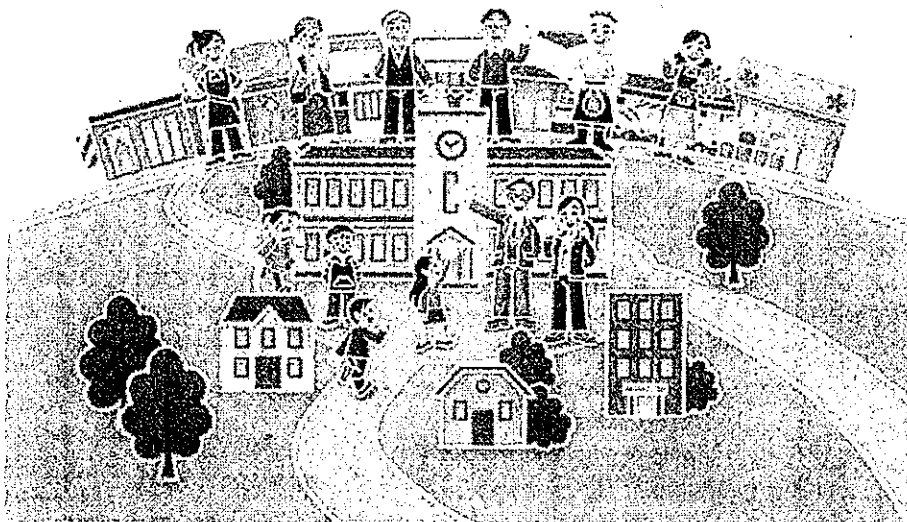
- ・本格実施になり学校運営協議会設置の趣旨を踏まえ、協議会には学校運営に積極的に参画いただけるよう、情報提供するとともに、単なる指摘に留まらず、建設的な意見聴取に努める。
- ・限られた予算の中で、意義ある主催事業が実施できるよう、事業計画・予算執行計画を作成する。
- ・委員には、できるだけ学校の様々な教育活動の場面を公開し、協働して活動する。
- ・コミュニティ・スクール推進事業をより推進するために、学校運営協議会「コミュニティ・スクール」の研修会に多くの委員が出席いただけるよう参加要請する。

白紙ページ

(参考資料)

平成29年度

地域とともにある学校づくり
「コミュニティ・スクール」
学校運営協議会推進校のまとめ



平成30年 3月23日

篠山市教育委員会

篠山小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

学校・地域の協働で、「ふるさと大すき ささっ子」を育てよう

- 1 子ども達の安全・安心を守る取組
- 2 体験的なふるさと教育の推進で、ふるさと自慢ができるささっ子を育てようの取組

2 取組の内容

開催日	第1回 平成29年 6月15日(木) 16:40~17:40		
	第2回 平成29年 10月26日(木) 16:45~17:40		
	第3回 平成30年 2月21日(水) 16:30~17:15		
主な協議事項	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> ① ふるさと教育の推進について ② 学校環境美化について ③ 学校目標・評価について ④ 校舎ありがとうプロジェクトについて ⑤ 安全・安心な「まちづくり」について ⑥ 防犯ブザーの寄贈について ⑦ あいさつ運動について </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> *学校教育への地域の方々の参画体制など *プラタナス、芝生の手入れなど *教職員・保護者・地域三者一体での取組など *保護者、老人会との連携など *学校・地域見守り体制など *地域団体より協力など *地域の方々へのあいさつの状況と改善方法など </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> ① ふるさと教育の推進について ② 学校環境美化について ③ 学校目標・評価について ④ 校舎ありがとうプロジェクトについて ⑤ 安全・安心な「まちづくり」について ⑥ 防犯ブザーの寄贈について ⑦ あいさつ運動について 	<ul style="list-style-type: none"> *学校教育への地域の方々の参画体制など *プラタナス、芝生の手入れなど *教職員・保護者・地域三者一体での取組など *保護者、老人会との連携など *学校・地域見守り体制など *地域団体より協力など *地域の方々へのあいさつの状況と改善方法など
<ol style="list-style-type: none"> ① ふるさと教育の推進について ② 学校環境美化について ③ 学校目標・評価について ④ 校舎ありがとうプロジェクトについて ⑤ 安全・安心な「まちづくり」について ⑥ 防犯ブザーの寄贈について ⑦ あいさつ運動について 	<ul style="list-style-type: none"> *学校教育への地域の方々の参画体制など *プラタナス、芝生の手入れなど *教職員・保護者・地域三者一体での取組など *保護者、老人会との連携など *学校・地域見守り体制など *地域団体より協力など *地域の方々へのあいさつの状況と改善方法など 		
主な取組	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> ① ふるさと教育の推進に関する取組 ② 安全・安心な「まちづくり」に関する取組 ③ あいさつ運動に関する取組 ④ 環境美化に関する取組 <p>【学校・家庭・地域】との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 家庭での読書習慣の向上に向けての取組 <p>【地域】の願い実現に向けて</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥ 児童から地域の方々へ、さらにより挨拶ができる取組 </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> ① ふるさと教育の推進に関する取組 ② 安全・安心な「まちづくり」に関する取組 ③ あいさつ運動に関する取組 ④ 環境美化に関する取組 <p>【学校・家庭・地域】との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 家庭での読書習慣の向上に向けての取組 <p>【地域】の願い実現に向けて</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥ 児童から地域の方々へ、さらにより挨拶ができる取組 	
<ol style="list-style-type: none"> ① ふるさと教育の推進に関する取組 ② 安全・安心な「まちづくり」に関する取組 ③ あいさつ運動に関する取組 ④ 環境美化に関する取組 <p>【学校・家庭・地域】との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 家庭での読書習慣の向上に向けての取組 <p>【地域】の願い実現に向けて</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥ 児童から地域の方々へ、さらにより挨拶ができる取組 			

3 成果と課題、参考資料等

(成果)

- ① 昨年度に続き、学校評価のなかで、「ふるさとを愛する」「ふるさとを意識した学習ができている」の項目が前年度よりも児童・保護者ともに評価がかなり高くなっていること
- ② 「家読」の日が浸透し、親子で読書をする機会が増えていること、また意識が高くなっていること

(課題)

- ③ 「家読」以外で、自主的に家庭で読書する習慣に向けての取組
- ④ 児童から地域の方々へ、さらにより挨拶ができる取組

(別紙様式4)

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	篠山小学校学校運営協議会	会長名	熊谷 満
実施内容 及び成果	<p>1 主な研究内容について</p> <p>(1) ふるさと教育の推進について *学校教育への地域の方々の参画体制など</p> <p>(2) 学校環境美化について *プラタナス、芝生の手入れなど</p> <p>(3) 学校目標・評価について *教職員・保護者・地域三者一体での取組など</p> <p>(4) 校舎ありがとうプロジェクトについて *保護者、老人会との連携など</p> <p>(5) 安全・安心な「まちづくり」について ※学校・地域見守り体制など</p> <p>(6) 防犯ブザーの寄贈について *地域団体より協力など</p> <p>(7) あいさつ運動について *地域の方々へのあいさつの状況と改善方法など</p> <p>2 研究成果について</p> <p>(1) 学校評価のなかで、「ふるさとを愛する」「ふるさとを意識した学習ができている」の項目が前年度よりも児童・保護者ともに評価がかなり高くなっていること</p> <p>(2) デカンショ祭などの地域行事で、学校・保護者・地域が一体となり、参加できたこと</p>		
今後の課題	<p>1 今後の研究課題</p> <p>(1) 家庭での読書習慣の向上に向けての取組</p> <p>(2) 児童から地域の方々へ、さらにより挨拶ができる取組</p> <p>(3) 地域のシンボルである「プラタナス」の手入れに関する取組</p>		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等	<p>1 学校ホームページで、随時、地域・保護者向けに子どもたちの様子を伝えることができている。</p> <p>※篠山小学校ホームページ参照</p>		

八上小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1. 研究テーマ

保護者・地域との連携を深め、ふるさと「八上」に根ざした「地域とともにある学校づくり」を探求する。

2. 取組の内容

開催	第1回 5月28日(日) 11:00~12:10 第2回 11月26日(日) 11:00~12:10 第3回 2月19日(月) 19:00~20:30
主な協議事項	①コミュニティ・スクール推進事業について説明(規則等) ②組織の確認、事業計画、研究テーマ、活動内容等 ③今年度の学校経営方針の承認について ④地域と連携したふるさと学習について ⑤学力、学習状況調査の結果と今後の取組について ⑥通学路の安全について ⑦学校運営協議会あいさつ運動について ⑧地域と連携した運動会のあり方について
主な取組	①学校運営に関する承認 ・基本方針、学校予算について等 ②学校運営に関する意見 ・児童の様子について、学校評価等 【学校・家庭・地域との連携】 ③地区親睦運動会と小学校運動会の合同実施に向けた協議 ・地域みんなで子ども見守り育てる仕組み作りのひとつとして取組をすすめる。 ④学校だよりの全戸配布 ・学校の取組や児童の様子のありのままを地域に発信する。 ⑤通学路の安全確認 ・通学路の危険箇所の確認と自治会代表者名での県への要望。 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑥地域人材を活用した体験学習 ・黒豆作り、田植え、稲刈り体験学習、キャリア学習「名人に弟子入り」 ⑦学校運営協議会による「あいさつ運動」の立ち上げ ・毎月一回、PTA、民生委員等と連携し校門付近で実施

3. 成果と課題、参考資料等

- ①校区の親睦運動会と学校の運動会の合同実施に向けた協議を行い、児童を中心とする地域交流の視点で協議を深めることができた。
- ②学校運営協議会の方々の協力により、田植えや稲刈り、黒豆についての体験学習など、教科内容の充実につながった。5年生「名人に弟子入り」の学習は、キャリア教育の視点から貴重な取組であることの評価をいただいた。
- ③通学路の危険箇所についての情報交換を行い、通学路の見守り体制を強化することができた。通学路のガードレール設置の要望書を作成し自治会代表者名で丹波土木事務所に提出し、今年度末に設置されることとなった。
- ④地域とともにある学校づくりの視点から、運営協議会の活性化をさらに図る必要がある。地域の方の個々の要請にすべて応えるのではなく、学校教育目標や目指す児童の姿などについて学校が積極的に発信し理解を求めた上で、児童の資質能力の向上のための連携が必要である。

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	八上小学校運営協議会	会長名	塚本 幸隆
実施内容 及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会による「あいさつ運動」を立ち上げ、地域全体で子どもたちを見守っていく体制作りにつながった。 ・学校運営協議会による校内の安全点検活動を実施し、危機管理意識の高揚につながった。 ・通学路の危険箇所についての情報交換を行い、通学路の見守り体制を強化することができた。通学路のガードレール設置の要望書を作成し丹波土木事務所に提出し、今年度末に設置されることとなった。 ・校区の親睦運動会と学校の運動会の合同実施に向けた協議を行い、児童を中心とする地域交流の視点で協議を深めることができた。今後合同運動会実施に向けて実行委員会を立ち上げ協議していく。 ・地域人材を活用した学習について協議を行った。学校運営協議会の方々の協力により、田植えや稲刈り、黒豆についての体験学習など、教科内容の充実につながった。5年生「名人に弟子入り」の学習は、キャリア教育の視点から貴重な取組であることの評価をいただいた。 ・学校関係者評価においては、キャリア教育、いじめの問題、人権教育、勤務時間の適正化などについて積極的に提言いただき、地域の方の意見を取り入れた学校運営の仕組み作りの第一歩となった。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校づくりの視点から、運営協議会の活性化をさらに図る必要がある。地域の方の個々の要請にすべて応えるのではなく、学校教育目標や目指す児童の姿などについて学校が積極的に発信し理解を求めた上で、児童の資質能力の向上のための連携が必要である。 ・合同運動会実施に向けては、今後の地域交流のあり方、児童をとりまく環境作り、ふるさとを愛する心の育成等の視点から、関係者が英知をしぼり、少しずつ合意形成を図りながら丁寧に作り上げていく必要がある。 		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等			

城北畑小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

「地域が活性化し、子どもの豊かな成長に関わるコミュニティ・スクールの創造」

2 取組の内容

開催日	第1回 6月13日(火) 10時00分～12時00分 第2回 8月22日(火) 19時00分～20時45分 第3回 12月20日(水) 19時00分～20時30分 第4回 2月20日(火) 19時00分～20時30分
主な協議事項	①コミュニティ・スクール推進事業について説明 ②組織の確認、事業計画、研究テーマ、活動内容等について ③今年度の学校経営方針の承認について ④コミュニティ・スクール運営についての具体的な教育活動(5つのサポート事業)について ⑤校区の地域資源・地域の人材の有効活用、地域ボランティア「学校応援団」について ⑥地域活動との密接な連携について ⑦校内安全点検について ⑧学校関係者評価について
主な取組	①学校運営に関する承認 ・基本方針について ②学校運営に関する意見 ・児童について、学校評価、安全点検等 【学校・家庭・地域】との連携 ③学校だよりや学級だよりによる広報活動、ホームページによる広報活動 ・10月19日(木) 参観日・人権講演会 ・5月25日(木)・26日(金)、1月26日(金) 1日公開授業(オープンスクール) ・9月19日(火) 運動会 ・11月11日(土) 学習発表会 ※案内は校区内全戸に配布 【地域】の願い実現に向けて ・支援ボランティアによる活動の活性化 農業・環境体験(黒豆・お苗菊・クリンソウ・梅もぎ体験・川の水質調査) 伝統文化体験(書道、民話、伝承祭事など) 学力向上(夏休み広場、学習支援員) 環境美化(環境整備作業、花いっぱい運動の実施) 地域活性化(あいさつ運動の実施等)

3 成果と課題、参考資料等

① 昨年度から協議会を組織し様々な活動をおこなってきたが、地域の方が大変協力的であり、地域と連携した取組が拡大・定着してきた。 ② 活動内容を5つのサポート事業として整理することにより、取組の視点を明確化できた。また、地域ボランティア「学校応援団」を募集する広報活動の中でコミュニティ・スクールの取組を周知することができた。 ③ 1年目の取組をもとに活動の計画を行ったが、教育課程や学校行事との調整をさらにすすめていく必要がある。 ④ 協議会の委員をコミュニティ・スクール運営委員として取組を進めて行ったが、まちづくり協議会へ参画を依頼するなど、組織づくりについてさらに検討していく必要がある。
※ 参考資料等 ・地域ボランティア「学校応援団」の募集について(校区全戸配布資料)

(別紙様式4)

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	城北畑小学校運営協議会	会長名	石田 増興
実施内容 及び成果	<p>本年度も5つのサポート事業を展開し、地域とともにある学校づくりを推進していった。</p> <p>(1) あいさつ促進サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月より月1回実施した。10/16 11/15 12/15 1/15 2/15 3/15 (保護者、地域、教職員、児童会役員が学校の児童玄関に集まり実施した。) <p>(2) 環境・美化サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み環境美化作業(全校生)に地域ボランティア動員を依頼した。 ・お苗菊栽培(6年生)への活動支援協力を依頼した。 ・クリンソウ栽培・保護活動(5年生)への講師依頼をした。 ・校区の川の水質調査等の講師依頼をした。 ・黒豆栽培(3年生)の活動指導員への講師依頼をした。 ・梅もぎ体験(1, 2年生)の活動への協力依頼をした。 ・グリーンカーテン(山の芋)2年総合学習でJAに講師依頼をした。 ・校内花いっぱい運動を展開した。(サイネリア、スイセン等) <p>(3) 安全・安心サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の安全点検の依頼をした。(運営委員、PTA役員等) ・避難訓練時に地元消防団から防災体験学習の協力を受ける。 <p>(4) 地域活性化サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に伝わる民話の語り講師依頼をした。(鱧まつり講話) ・地域行事への児童の参加を促進した。 <p>(5) 学力向上サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援(放課後学習等)講師依頼をする。 ・読み聞かせ講師依頼をする。(第2, 4週木曜日) ・教科等の学習に関連して講師依頼をした。 (ソーラーカー実演学習、ツリーイング、書道、クリスマスコンサート等) <p>上記のような5つのサポート事業の周知と地域の方々に学校の教育活動に積極的にかかわっていただけるよう、「学校応援団」として地域ボランティアを募集するチラシを全戸配布した。</p>		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降も5つのサポート事業を柱に継続的な活動がしていけるよう取り組みを進めていく。 ・運営委員会の組織の拡充と地域ボランティア「学校応援団」の募集を進める。 		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の学校通信やHP等で積極的に情報発信する。 		

岡野小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

「保護者や地域から信頼され愛される学校づくり」
～ 地域と連携した特色ある学校運営をめざして～

2 取組の内容

開催日	第1回 6月15日(木) 13:30～ 第2回 9月7日(木) 13:30～ 第3回 12月4日(月) 19:00～ 第4回 1月23日(火) 13:30～ 第5回 2月28日(水) 19:00～
主な協議事項	①コミュニティ・スクール推進事業の主旨確認 ②組織及び研究テーマ・事業計画等の確認 ③今年度の学校教育目標・学校経営方針の承認について ④学校行事への積極的な参画のあり方について ⑤地域活動と学校との連携のあり方について ⑥通学路及び校内の安全確保について ⑦岡野小学校区の地域資源・人材の有効活用について ⑧岡野漢字検定の運営について ⑨学校評価について
主な取組	①学校教育目標・学校経営方針に関する承認 ②学校運営に関する意見 ③授業参観・施設の安全点検の実施 ④学校関係者評価の実施 【学校・家庭・地域との連携】 ⑤学校だよりや「コミュニティ・スクール通信」、ホームページによる広報活動 ⑥授業への地域講師の招聘・黒豆栽培(3年生)・地域の歴史と平和学習(6年生) ⑦地域講師によるクラブ活動の実施 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑧漢字検定の企画・運営 ⑨登下校見守りボランティアへの支援 ⑩農業・環境体験(黒豆・さつまいも)や伝承遊びの講師として参画 ⑪あいさつ運動への支援

3 成果と課題、参考資料等

(成果)

- ①学校の取り組みについて地域に情報提供が積極的に行えた。
- ②運営協議会が、学校と地域、各種団体等とのパイプ役になり、充実した連携が行えた。
- ③コミュニティ・スクール通信を全戸配布し、地域に広く情報発信することができた。

(課題)

- ④協議会の開催日について、委員の日程調整が難しい。

※ 参考資料等

コミュニティ・スクール通信(第1号)

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	岡野小学校運営協議会	会長名	小山 敏
実施内容 及び成果	<p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運営協議会の組織及び研究テーマ・事業計画等の確認 2 学校教育目標・学校経営方針の承認 3 学校運営への参画 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校運営に関する意見交換 (2) 授業参観 (3) 学校行事への参画 (4) 地域行事と学校とのパイプ役 4 安全への協力 <ol style="list-style-type: none"> (1) 登下校見守りボランティアへの支援 (2) 地域安全委員としての役割（校内安全点検の実施） 5 学習面での支援 <ol style="list-style-type: none"> (1) ふるさと学習等に係る地域教材・地域人材の調整 (2) 体験学習（黒豆栽培等）への支援 (3) 岡野漢字検定の運営 6 情報の発信 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校だより、コミュニティ・スクール通信、ホームページ <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な学習場面で地域の人材活用が図れた。 ・様々な立場の方から学校運営に対する助言がいただけた。 ・地域の行事に積極的に関わることができた。 ・学校や運営協議会の取組について広く情報発信することができた。 		
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 会議や行事を行う上で、協議会委員の日程調整が困難である。 2 運営協議会がより主体的に活動できる内容を検討していく。 3 自治会、ふるさとづくり協議会、PTA、学校等、それぞれが実施してきている行事と、運営協議会が担う行事との精選が必要である。 		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール通信 		

城東小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

ふるさとなつながら、ふるさに学ぶ城東っ子
～学力向上・体力向上とそれを支える学校運営協議会～

2 取組の内容

開催日	第 1 回	6月 28日 (水)	19:30 ~ 21:00
	第 2 回	10月 25日 (水)	10:40 ~ 13:30
	第 3 回	2月 16日 (金)	19:30 ~ 21:00
	第 4 回	3月 13日 (火)	19:30 ~ 21:00
(第4回はこれから実施)			
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもを中心とした学校、保護者、地域の連携した取組について ②地域人材を活用した授業の創造について ③地場産業（地域の特産物）への関わりの推進について ④地域の文化的・体育的活動への積極的な参画につながるふるさと教育の推進について ⑤地域と連携した教育活動、その教育的効果についての評価活動について ⑥地域をフィールドにしての体験活動の充実と推進について ⑦地域への広報活動について ⑧通学路を中心とした地域の安全について 		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①「学校を流行らせる」取組について意見交流を行った。その中から運動会、オープンスクールの取組を選び実践した。 ②特産物を活用したふるさと学習についての意見聴取を行った。 ③地域のゲストティーチャーの活用について話し合った。 ④学校運営協議会の内容や取組についての広報活動を行った。 【学校・家庭・地域との連携】 ⑤運動会で城東音頭、デカンショ節を城東音頭保存会の演奏で6つの連に分かれて踊った。 ⑥オープンスクールで「とっておき笑顔写真展」を行い、85点の作品が出品された。 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑦学校評価や具体的な取組を参考に評価活動を行った。 ⑧学校安全点検を2回行い、具体的な指摘のもと改善を行った。 		

3 成果と課題、参考資料等

(成果)

- ①学校運営について意見聴取を学期に1回実施することで、速やかに委員の意見を学校運営に反映することができた。
- ②地域での児童の様子や地域行事の様子を知り、日々の指導に生かすことができた。
- ③委員の意見は広い一般社会の意見として大変有り難く、多様な意見を学校運営に取り入れることができた。
- ④学校のヒーロー1つ目を決定した。(後川地区のオオサンショウウオ) 今後、雲部地区、日置地区のヒーローを決定する予定である。

(課題)

- ④10月は委員が集まりにくかったので、来年度は農繁期を外して日程を設定するようにする。

※ 参考資料等

学校園だより

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	城東小学校運営協議会	会長名	森口 久
実施内容及び成果	<p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習基盤の構築と学習意欲向上につながるふるさと教育、講話 等々 <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した授業の創造 ○地域の文化的・体育的活動への積極的な参画につながるふるさと教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・城東味まつり参加、運動会での城東音頭、デカンショ節、通学合宿、とっておき笑顔の写真展 等々 ○地域をフィールドにしての体験活動の充実と推進について (特徴的な取組) <ul style="list-style-type: none"> 【全 校】田植え・稲刈り、オープンスクール、とっておき笑顔の写真展等 【低学年】地域をフィールドにしての体験活動、野菜づくり 【中学年】茶摘み体験(後川地区)、黒豆や山の芋の栽培収穫体験等 【高学年】米の無農薬栽培体験、地域イベント(城東味まつり)への参画・参加学校のヒーローの取組 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営について意見聴取を学期に1回実施することで、速やかに委員の意見を学校運営に反映することができた。 ○自然体験活動・農業生産活動等、地域の多くの教育力を導入し展開できた。地域の特産物や動植物を学ぶ中で地域の方々の思いに触れ、自分の故郷に誇りを持つ心情の素地を培うことができた。生産活動を通して勤労の大切さを学び、キャリア教育にもつながられた。 ○「体育科」「食育・眠育」の授業において地域の方々や関係機関と連携を図りながら、年間を通して各学年で発達段階に応じた展開ができた。食育便りやHPを通して広く情報発信を行った。 ○「笑顔の写真展」を保護者や地域の人に呼びかけて実施し、学校の取組に理解を深めもらうことができた。 ○オオサンショウウオを学校のヒーローに決め、ヒーローへの取組や感謝の気持ちを表す発表会を児童自らが立案・実施できた。その中で自分達の活動が多くの方々に支えられているという意識を持てただけでなく、ふるさとへの思いをいかにすれば相手に伝えられるかという、表現力や企画力を磨くことができた。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○学校地域運営協議会が、企画・立案した取組の推進 ○学校運営協議会への参加や依頼において、学校運営協議会委員の方は、他の役職の兼務等で忙しい。農繁期を外すなど連絡・調整が課題である。 ○地域活動への児童・保護者(PTA)の一層の積極的参画 ○本校の研究テーマを「体育科」を中心に展開していくが、これまでの「食育・眠育」を生かして工夫・改善し、両方の取組を両立させていくことが研究課題である。 		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<ol style="list-style-type: none"> 1 発表方法 とっておき笑顔の写真展 2 実施期日 10月24日～26日(オープンスクール) 3 学校園だより・笑顔の写真展チラシ配布、ポスター、ホームページ 		

多紀小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

多紀を根っこに、自立し未来に挑戦する子の育成
 ～多紀に学び、多紀を語り、多紀に貢献する子を育む～

2 取組の内容

開催日	第1回 5月23日(火) 19:30～21:00 第2回 10月27日(金) 13:35～15:30 第3回 1月26日(金) 14:35～16:00 第4回 2月28日(水) 19:30～21:00
主な協議事項	①学校づくりの方向性と現状について ②地域と関わる行事等について ③校区の安全について ④オープンスクールへの講師招聘について ⑤運動会・学習発表会への関わりについて ⑥金管バンド活動について ⑦学校評価について
主な取組	①学校運営の基本方針への理解を得る。 ②地域で実施される行事についての情報共有を行い、学校の関わりについて調整した。 ・地域行事の日程一覧作成 ・ゲストティーチャーの紹介 ③校区の安全についての情報共有と取組を行う。 ・駐在所とも連携しつつ、交通面、不審者対応面からの情報共有を行った。 ・通学路点検の結果を関係自治会と情報共有した。 ④オープンスクールに小林祐梨子氏(元陸上長距離選手)を招聘する。 ・児童にランニング教室を実施していただく。 ・併せてPTAと連携し、児童・保護者学習会講師として活用した。 ⑤運動会・学習発表会に地域から出場・出演する方向で調整する。 ・運動会・・・三世代交流演技「三世代交流玉入れ合戦」出場調整 ・学習発表会・・・地域の歌声サークルの出演調整 ⑥金管バンドの地域行事出演についての調整等を行う。 ・多紀地区全体の行事に1つ、福住・大芋・村雲の地域行事に1つずつ出演する。 ・楽器運搬等の調整を行う。 ⑦学校自己評価に対する意見報告・協議を行う。 ・情報モラル教育を家庭と連携して進める。次年度講師を招聘して学習会をしたい。 ・挨拶をはじめとした好ましい生活習慣と学習規律の定着を図っていく。 ・「書く」「話し合う」活動を今後も重視する。

3 成果と課題、参考資料等

- ①多紀小学校の運営方針を伝え、意見を聴取し、参画いただく場として効果的に活用できた。
- ②学校行事への地域参加、地域行事への学校参加のための調整・連携の場として活用できた。
- ③通学路や登下校の状況等を地域に把握していただき連携する場として活用できた。
- ④今後も子供の健全育成のため学校と家庭・地域が連携する核となる組織として活用推進を図る。

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	多紀小学校運営協議会	会長名	村山 紳一
実施内容 及び成果	<p>1 学校運営の基本方針の承認と学校運営の状況の点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長の学校運営の基本方針について理解を得、承認を受けることができた。 ・学校自己評価に対する意見交流・協議を行うことができた。 ・保護者や地域の方の声を学校運営に取り入れることで、家庭・地域と一緒に なって学校づくりを推進することができた。 <p>2 学校運営及び教育活動の充実に向けた取組</p> <p>(1) ふるさと教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のことについて地域と連携したふるさと教育を推進できた。 ア 地域行事への参加とふるさと学習について <ul style="list-style-type: none"> ・地域で実施される児童を対象とした行事についての情報共有を行い、学 校の関わりについて調整することができた。 イ 運動会・学習発表会への地域参加について <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々の運動会への出場、学習発表会へ出演の方向で調整できた。 ウ 金管バンドの地域行事出演について <ul style="list-style-type: none"> ・金管バンドの地域行事出演についての調整等を行うことができた。 ・楽器の運搬、児童の送迎等で支援を受けた。 <p>(2) 本物にふれる体験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクールに小林祐梨子氏（元陸上長距離選手）を招聘し、ランニン グ教室と講演会を実施していただいた。 <p>(3) 安全安心な学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校見守り支援を実施していただいた。 ・通学路や登下校の状況を地域に把握していただき安全な登下校について 連携することができた。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多紀小学校の運営に関わる方針を伝え、意見を聴取する場として効果的に活用で きた。 ・学校行事への地域参加、地域行事への学校参加のための様々な調整を行う場とし て活用できた。 ・通学路や登下校の状況等を地域に把握していただき、連携する場として活用でき た。 ・今後も子供の健全育成のため学校と家庭・地域が連携する核となる組織として活 用推進を図る。 		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針 		

西紀南小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

「学校と地域がともに活性化するコミュニティスクールの創造」
 ～地域資源（人・物・こと）を一層積極的に活用して、
 学校教育目標の具現化に向け、充実した教育活動を展開する～

2 取組の内容

開催日	第1回 6月15日（木）15：30～17：00 第2回 11月 8日（水）15：30～17：00 第3回 2月16日（金）15：30～17：00
主な協議事項	①コミュニティ・スクール推進事業について説明（規則等） ②組織の確認、事業計画、研究テーマ、活動内容等 ③今年度の学校経営方針の承認について ④3つの部会「安全環境」「学び」「ふれあい」の活動計画について ⑤登下校の安全（下校見守り放送・危険箇所）について ⑥地域活動との連携について ⑦学校評価について
主な取組	1 学校経営方針等の承認 2 登下校の安全・安心に向けた取組 （1）校区住民への登下校に関するアンケート実施に向けた内容の検討（下校放送の取組等） （2）アンケート結果に基づく今後の取組についての検討（下校放送の実施方法等） （3）保護者、見守り隊の方、教職員、学校運営協議会委員による登下校についての意見交換会の開催 （4）登下校についての意見交換会での意見をもとにした安全対策についての協議 （5）登下校の見守りの強化に向け、活動時に着用するコートを購入 3 校内の安全・美化に関する取組 （1）学校運営協議会委員による校内安全点検の実施 （2）学校運営協議会委員及び地域団体による校内環境整備の実施 4 地域人材を活用した学習への支援 （1）学校運営協議会委員及び地域の方によるクラブ指導 （2）学校運営協議会委員によるがんばりタイムでの学習指導 （3）大学生ボランティアサークル「にしき恋」との交流・支援 （4）学校運営協議会委員からの提案により、全学年でのストーリーテリングを実施

3 成果と課題、参考資料等

- ①登下校の安全を守る取組に関して、校区内の様々な意見を集約し、より安全な登下校の安全対策について検討することができた。しかし、検討した内容が実施できるよう、実施までの計画をしっかりと立てることが必要である。
- ②ふるさと教育やキャリア教育の推進において、学校運営協議会委員の支援により、様々な地域講師を招いて学習を進めることができ、学習の充実を図ることができた。今後、より多くの分野での講師を発掘できるよう、学校運営協議会委員との連携を深めていきたい。
- ③学校運営協議会委員による安全点検の結果をもとに、危険箇所の改善等ができた。また、学校運営に対する様々なご提言をいただき、日々の教育活動に反映することができた。
- ※ 参考資料等 登下校についてのアンケート及び結果と今後の課題についての資料、コミュニティ・スクール通信

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	西紀南小学校学校運営協議会	会長名	北山透
実施内容及び成果	<p>1 実施内容</p> <p>(1) 学校経営方針等の承認</p> <p>(2) 登下校の安全・安心に向けた取組</p> <p>①校区住民への登下校に関するアンケート実施に向けた内容の検討(下校放送の取組等)</p> <p>②アンケート結果に基づく今後の取組についての検討(下校放送の実施方法等)</p> <p>③保護者、見守り隊の方、教職員、学校運営協議会委員による登下校についての意見交換会の実施</p> <p>④登下校についての意見交換会での意見をもとにした安全対策についての協議</p> <p>⑤登下校の見守り強化に向け、活動時に着用するコートの購入</p> <p>(3) 校内の安全・美化に関する取組</p> <p>①学校運営協議会委員による校内安全点検の実施</p> <p>②学校運営協議会委員及び地域団体による校内環境整備の実施</p> <p>(4) 地域人材を活用した学習への支援</p> <p>①学校運営協議会委員及び地域の方によるクラブ指導</p> <p>②学校運営協議会委員によるがんばりタイムの学習指導</p> <p>③大学生ボランティアサークル「にしき恋」との交流の支援</p> <p>④学校運営協議会委員からの提案により、全学年でのストーリーテリングを実施</p> <p>2 成果</p> <p>(1) 登下校の安全を守る取組に関して、校区内の様々な意見を集約し、より安全な登下校の安全対策について検討することができた。</p> <p>(2) ふるさと教育やキャリア教育の推進において、学校運営協議会委員の支援により、様々な地域講師を招いて学習を進めることができ、学習の充実を図ることができた。</p> <p>(3) 学校運営協議会委員による安全点検の結果をもとに、危険箇所の改善等ができた。また、学校運営に対する様々なご提言をいただき、日々の教育活動に反映することができた。</p>		
今後の課題	<p>(1) 登下校の安全を守る取組に関して、検討した内容が実施できるよう、実施までの計画をしっかりと立てることが必要である。</p> <p>(2) より多くの分野で地域講師を発掘できるよう、学校運営協議会委員との連携を深める。</p>		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校についてのアンケート及び結果と今後の課題についての資料 ・コミュニティ・スクール通信 		

西紀小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

地域と共に、ふるさと西紀を愛する子の育成をめざして

2 取組の内容

開催日	第1回 平成29年 6月 1日 (木) 9:30～11:40 第2回 平成29年11月17日 (金) 8:50～13:30 第3回 平成30年 2月22日 (木) 13:30～15:30
主な協議事項	①学校教育目標および学校経営方針について ②研究テーマについて ③学校内外の安全について ④地域との連携について ⑤学校評価（中間評価含む）について ⑥予算案、会計決算案について ⑦次年度学校運営協議会日程について ⑧次年度学校運営協議会主催行事について
主な取組	①学校教育目標、学校経営方針についての意見集約と合意形成、承認 ②研究テーマについての意見集約と合意形成、承認 ③学校内外の安全点検と対策について ④下校時の日常的な地域見守り ⑤学校評価についての意見集約 ⑥予算案、会計決算案についての承認 ⑦学校行事への参加（ふるさと朝会講師、地域防災訓練、毎週末の朝の登校指導） 【学校・家庭・地域との連携】 ⑧明るい1日の始まり運動の実施（毎月1回実施 育友会行事に協力） ⑨下校見守り活動の実施（毎月1回実施 育友会、里づくり振興会共催） ⑩オープンスクールにおけるふるさと紙芝居の実施 ⑪地域防災訓練におけるフィールドワークへの参加（育友会、里づくり振興会、消防団） 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑫地域校外学習への引率参加と講師としての参画 ⑬運動会における地域プログラムへの積極的運営協力と参画

3 成果と課題、参考資料等

- ①学校経営方針及び重点目標は適切に設定されており取り組まれている。
- ②ていねいな指導が見られ、子どもたちも落ち着き、集中して学習している。
- ③ふるさと朝会での子どもたちの話を聞く姿勢が大変よい。また感想をしっかりと発表できている。
- ④地域との連携がとれており、それが学校教育活動の中に生かされている。
- ⑤育友会での明るい1日のはじまり運動や通学の見守りの中で子どもたちの元気なあたたかい挨拶が聞こえておりうれしい。
- ⑥今後ともあたたかい学校づくりを期待する。

※ 参考資料等

- 学校評価資料①（別紙「12月保護者・児童アンケートの結果から」）
- 学校評価資料②（西紀っこだより第11号【2月号】）

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	篠山市立西紀小学校運営協議会	会長名	岡澤 久
実施内容 及び成果	<p>①学校運営協議会の開催（年3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、学校の様子をお知らせしたり、地域の子どもたちの様子を聞かせていただいたりして、交流を深めることができました。 ・学校での授業の様子を見ていただき、子どもたちのがんばっている姿と共に、少人数での取組について意見交流ができた。 ・安心安全な学校づくりという面から、学校施設を見ていただき、細かな面について助言いただいた。 <p>②地域と連携した教育活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での教育活動において、地域の方にお世話になった活動や、学習について交流し、さらなる指導者の発掘に取り組めた。 ・西紀小のヒーロー「マリオ米」販売で協力いただいた。 ・手芸・料理クラブで地域指導者としてお世話になることができた。 ・ふるさと朝会で学校運営協議会の委員さんに話をさせていただき、子どもたちは西紀の良さを知ることができた。また、10月のオープンスクールでは、朗読ひまわりの皆さん(内1名学校運営協議会委員)に地域に関する紙芝居をしていただいた。 ・地域として、夏休みに元気ハウスを開放し、午前中に子どもたちの宿題や遊びなどに取り組んでいただいた。子どもたちの居場所の充実が図られた。 ・夏季休業中のラジオ体操に地域から積極的に参加していただき、地域とのつながりが深まった。 ・学校行事に参加していただき、学校・保護者とのつながりが深まった。(地域校外学習・環境整備作業・オープンスクール・学習発表会など) ・集団下校付き添いによる通学路の安全確保、保護者と地域の方とのコミュニケーションが図られた。 <p>③学校評価の結果公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で実施した児童・保護者・教師におけるアンケートの結果・考察を公表し、「良くできているところ」や「課題となるところ」について共有することができた。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携をさらに深め、地域の特産物や講師についての情報収集に努める。 ・クラブ活動において、さらにグランドゴルフや和楽器などで地域指導者として教えて頂ける方をお願いする。 		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより ・ホームページ ・地域との連携した学習指導計画 		

西紀北小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

地域の子としての育み
～未来の創り手となる北っ子の育成をめざして～

2 取組の内容

開催日	第1回 6月22日(木) 19:30～20:30 第2回 10月25日(水) 16:15～17:15 第3回 2月22日(木) 19:30～20:30
主な協議事項	①教育目標及び学校経営方針等についての承認 ②指導の重点と実践項目について ・基礎基本の確実な定着と活用力・表現力・思考力の向上 ・地域とともにある学校づくりとふるさと教育の推進 ③学校と地域・保護者との連携のあり方 ・学校・地域一体型の行事について ・あいさつ運動について ・安全安心にかかわる取組について ④オープンスクールについて ⑤学校評価について
主な取組	①あいさつ運動「あいさつ日本一の草山地域」の推進、啓発 ②草山元気プロジェクト(草山未来予想図)の発表と啓発(学習発表会時) ②オープンスクールの計画、実施、反省 【学校・家庭・地域との連携】 ③地域生産組合との連携、黒豆ジュース(ビーンズサワー)の製造、試飲 ④学校地域一体型行事(ふれあい運動会、北っ子広場等)や伝統的体育行事(第36回体育発表会、第42回なわとび記録会)の計画、実施、反省 ⑤地域行事(あまごつかみ、楽市楽座、ふるさと祭り等)への参加と啓発 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑦学校運営協議会委員の授業参観と事後の意見交換(オープンスクール時) ⑧あいさつ運動の啓発にかかる、標語の募集(審査、結果の公表、表彰等)の取組への参画

3 成果と課題、参考資料等

(成果)

- ①草山元気プロジェクト(草山未来予想図)の名の通り、学習発表会で、地域の方々に子どもたちの成長とふるさと草山のすばらしさや元気を伝えることができた。
- ②黒豆ジュース(ビーンズサワー)の製造、試飲にあたって、地域生産組合の方々の協力、支援を得ることができた。草山の未来について考える場と機会をつくるとともに、今後も継続していくことが確認できた。
- ③「あいさつ日本一の草山地域宣言」(平成24年)から5年の節目の年、あいさつ標語の募集を通してあいさつの大切さを改めて実感できた。また継続して取り組むことを確認できた。

(課題)

- ④今後も小規模を弱みではなく強みとしてとらえ、保護者・地域と連携して特色ある学校づくりを行っていく。

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	西紀北小学校運営協議会	会長名	向山 憲雄
実施内容 及び成果	<p>日々の教育活動や行事等の実施を通して小規模校である強みを生かし、特色ある学校づくりを進めるとともに、学校、保護者、地域が一体となって、より一層、子どもたちの豊かな成長を育む取り組みをした。</p> <p>① 基本的な方針等の承認 教育目標及び学校経営方針、学校予算の編成及び執行に関して承認を得た。</p> <p>② 学校地域一体型行事の実施 学校・保護者・地域が一体となり地域とともにある学校づくりを推進した。実行委員会を組織し、学校・保護者・地域（自治会、郷づくり協議会、体育振興会等）と協議し、教育的なねらい等を理解、共有することができた。北っ子広場では、新たに保護者や北っ子支え隊の出店があり、活気のあるものとなった。</p> <p>③ あいさつ運動の推進 「あいさつ日本一の草山地域」宣言（H24）から5年の節目を迎え、あいさつ標語の募集を行った。たくさんの標語を応募いただいた。協議会で審査のうえ表彰を行った。また、標語を横断幕やのぼりに記して、地域へ掲示した。あいさつ日本一を継承し、新たな一歩を踏み出した。</p> <p>④ 授業の指導改善（特に算数） 一人学びの充実と活用によって論理的思考を深め、主体的な学びを深めてきた。放課後学習を実施し、地域の方で教職経験者を講師として招聘した。学習プリントの作成等、事前の打合せを十分に行った。学校と講師との連携のもと基礎基本が確実に定着してきている。また、講師の経験や指導力を学ぶ機会にもなった。</p> <p>⑤ 学校評価の公表 学校評価を実施、結果の分析、説明を行い、理解を得た。</p>		
今後の課題	<p>日々の教育活動や行事等の実施を通して小規模校である強みを生かし、特色ある学校づくりを進めるとともに、地域の活性化を目指したい。</p> <p>① あいさつ運動を推進していくことにより人への感謝の気持ちを持ち、こころの通い合った人間関係を築く。</p> <p>② 学校や家庭、地域が協働し、子どもたちに自尊感情や自己肯定感を育み、自分の意見や考えが堂々と発言できる表現力を培う。</p> <p>③ 地域人材の発掘を行うなど、地域と連携・協働してふるさと教育を充実させ、地域の活性化を図る。</p>		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<p>・あいさつ運動 お礼のチラシ</p>		

大山小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

学校・保護者・地域が一体となって、心豊かで自立する子を育成する
～地域全体で子どもを守り育てる学校運営協議会のあり方～

2 取組の内容

開催日	第1回 平成29年6月21日(水) 15:00～16:30 第2回 平成29年9月29日(金) 16:00～18:00 第3回 平成30年2月28日(水) 15:30～17:00
主な協議事項	①学校教育目標および学校経営方針について ②学校運営協議会の組織と活動内容について ③各学年のふるさと教育(地域との連携)の取組について ④学校(授業を含む)および児童の状況について ⑤学校施設・設備等の状況とその充実に向けて ⑥学校評価について ⑦予算執行、会計決算について ⑧平成30年度の学校運営協議会の日程と主催行事等について
主な取組	①学校運営に関する承認 ・経営方針、研究テーマ等について ②学校運営に関する意見 ・児童の状況、学校施設等について ③学校評価 ④学校行事への参加 【学校・家庭・地域との連携】 ⑤デカンショ祭への参加(スイカシャーベットの販売・ジュニア競演会・総踊り) ⑥地域材での箸づくり(山との関わり・金山登山・伐採体験・箸づくり) ⑦授業参観・人権講演会・安全点検 ⑧あいさつ運動と見守り活動 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑨コーディネーター・ゲストティーチャーとしての学校支援 農業体験・食育(スイカ、天内芋、黒豆、とふめし)、伝統文化・歴史(金山、荘園、東寺、「大山校」看板)、林業体験(伐採、植樹、箸づくり) ⑩学校と地域団体等との橋渡し 大山振興会、大山郷づくり協議会、一般社団法人天内、大山昔話の会、愛育班 他

3 成果と課題、参考資料等

- ①各学年のふるさと教育を地域の人材や素材を活用して実施することができた。地域の歴史、文化、特産物等を子どもたちに継承していくことが学習を通してできている。
- ②学校の食育の取組から誕生した天内芋のキャラクター「あもっちい」が、地域にオープンしたコミュニティカフェの店名「あもっち」となるなど、学校の活動が地域に広く知られるようになってきた。さらに、学校だよりやホームページなどで情報発信をしていく必要がある。
- ④防災訓練を学校と地域が連携して取り組んでいく。その際に避難方法や避難所運営の仕方を検討していく。
- ⑤コミュニティ・スクールに向けた発展的な取組を模索していく。

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	大山小学校運営協議会	会長名	齊藤 邦彦
実施内容 及び成果	<p>1 テーマ 学校・保護者・地域が一体となって、心豊かで自立する子を育成する ～地域全体で子どもを守り育てる学校運営協議会のあり方～</p> <p>2 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校経営方針等、学校運営に関する基本的な方針の承認 ○地域がより主体的に学校運営に参画する方策等についての研究 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター、ゲストティーチャーとしての学校支援 農業体験・食育（スイカ、天内芋、黒豆、とふめし）、伝統文化・歴史（金山、荘園、東寺、「大山校」看板）、林業体験（伐採、植樹、箸づくり） ・学校と地域団体等との橋渡し 大山振興会、大山郷づくり協議会、一般社団法人天内、大山昔話の会、愛育班 他 ○家庭や地域とともに行う食育の進め方の探究 <ul style="list-style-type: none"> ・食と農に関する体験活動（スイカ、天内芋、黒豆、サツマイモ等の栽培） ・発展的な活動としてデカンショ祭への参加（スイカシャーベットの販売・ジュニア競演会・総踊り） ○あいさつ運動や見守り活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・のぼり旗の活用によるあいさつ運動の活性化と防犯グループによる下校見守り活動の実施 <p>3 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年のふるさと教育を地域の人材や素材を活用して実施することができた。地域の歴史、文化、特産物等を子どもたちに継承していくことが学習を通してできている。 ○学校の食育の取組から誕生した天内芋のキャラクター「あもっちい」が、地域にオープンしたコミュニティカフェの店名「あもっち」となるなど、学校の活動が地域に広く知られるようになってきた。さらに、学校だよりやホームページなどで情報発信をしていく必要がある。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>防災訓練を学校と地域が連携して取り組んでいく。その際に避難方法や避難所運営の仕方を検討していく。 <input type="checkbox"/>コミュニティ・スクールに向けた発展的な取組を模索していく。 		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）組織図 ・各学年のふるさと学習（計画表） 		

味間小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

夢を抱き、自立して未来に挑戦する児童の育成
～ふるさと味間を愛し誇りに思う児童の育成～

2 取組の内容

開催日	第1回 5月22日(月) 19:30～21:00 第2回 10月26日(木) 12:00～14:30 第3回 2月2日(金) 19:30～21:00
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニティ・スクール推進事業について説明(実施要項・規則等) ②組織の確認(会長・副会長の選出、活動内容等) ③今年度の学校教育(学校経営方針、学校教育目標、具体目標等)の承認について ④校区の安全について ⑤学習指導の充実について(授業参観を通して) ⑥生徒指導、安全指導の充実について ⑦地域資源・人材の有効活用について ⑧学校評価について
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①学校運営の関する承認(学校経営方針、学校教育目標、学校予算等) ②学校運営に関する意見(学習指導、生徒指導、安全指導、学校評価等) ③授業参観、給食試食会 <p>【学校・家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや学年通信、学校ホームページによる広報活動 ・10月26日(木) オープンスクール(人権参観日) 人権講演会『あ～よかったな あなたがいて』講師：仲島正教 氏 ・12月2日(土) 味間っ子ふれあい祭(三世代交流) <p>【学校運営協議会による学校運営への参画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の読み聞かせ(毎週火曜日) ・あいさつ運動(毎月第3木曜日) ・登下校の見守り ・農業・環境体験(稲作、黒豆、お茶、サツマイモ等) ・伝統文化体験(しめ縄飾り、郷土料理、竹馬、伝承遊び等)

3 成果と課題、参考資料等

(成果)

- ・コミュニティ・スクールに向けた意識の醸成ができた。
- ・学校と地域との連携について、様々な立場の方々とゆっくり話し合う場がもてた。

(課題)

- ・忙しい方が多いので、協議会の日程調整が難しい。

※ 参考資料等

- ・地域とともにある学校づくり事業「人権参観日及びPTA学習会のご案内」
- ・コミュニティ・スクール通信の発行第2号まで

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	味間小学校運営協議会	会長名	久保 正信
実施内容 及び成果	<p>今年度、研究テーマを「夢を抱き、自立して未来に挑戦する児童の育成」～ふるさと味間を愛し誇りに思う児童の育成～と設定し、味間小学校区の特産物である黒豆や丹波茶についての体験学習をはじめ、田植えや稲刈りなどの米作りや、学校給食の食材として使われるキャベツの収穫等の体験活動において、地域の方々の協力のもと、「地域とともにある学校づくり」を進めてきた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校運営協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月22日（月） 10月26日（木） 2月2日（金） 2 茶摘み体験や学校給食の食材の収穫体験、黒枝豆の栽培や販売、米作り体験や化石発掘体験などの体験学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生による環境体験学習（茶摘み体験、寒茶づくり、黒豆栽培、お米作り、学校給食の食材のキャベツ収穫体験、黒豆を使った郷土料理づくり） ・ 4年生の米作り（田植え、稲刈り）、山芋の栽培 ・ 5年生赤米づくり（田植え、稲刈り） ・ 6年生化石発掘体験、国蝶オオムラサキを育てる森づくり植樹事業に参加 ・ 10月26日（木）人権参観日（PTAと連携し、人権講演会の実施） ・ 12月2日（土）PTA、地域の諸団体の方々を指導者として、「味間っ子ふれあい祭」（三世代交流）の実施 3 花いっぱい運動による笑顔あふれる学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業式、入学式に向けた、ビオラ・サイネリアの栽培 4 学校ホームページや学校だより等による地域や保護者への積極的な情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動を通して、地域の特色や特産物への理解、お世話になった地域の方々への感謝の気持ち、ふるさと味間への愛着と誇りが育ってきたといえる。 ・ 学校と地域との連携について様々な立場の方々と話し合う場が持て、上記のような取り組みを実施することができた。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンスクールや諸行事などを活用し、広く地域の方々に来校いただき、より開かれた学校づくりを推進していく。また、まちづくり協議会等と連携し、児童・保護者の地域行事への積極的な参加を呼びかけていきたい。 ・ 校区には豊かな自然をはじめ、そこで栽培される特産物、公共交通機関や公共施設、商業施設等、学習教材が数多くある。この地域教材をいかし、さらに一層ふるさと味間への愛着と誇りを育てていきたい。 		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 		

城南小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

～ 地域と連携した学校運営の推進 ～

地域と学校の連携により、学校が「子どもが夢に会い、大切にして、広げるところ」になるよう、地域の教育力を活かした学校運営を進める。

2 取組の内容

開催日	第 1 回 6月 8日 (木) 13:30 ～ 15:30 第 2 回 10月17日 (火) 13:30 ～ 15:45 第 3 回 2月16日 (金) 9:30 ～ 12:10
主な協議事項	①コミュニティ・スクール推進事業・組織等について確認・説明（規則等） ②今年度の学校経営目標の承認 ③今年度の事業について 「城南っ子応援隊」の活動について 「引き渡し～避難所運営までの流れ」について 「ネット社会の安全・城南小の実態」について 「Jアラート」発信時の対応・防災マニュアルについて 「家庭学習」の進め方について ④学校評価（保護者・児童・教職員アンケート）について ⑤平成30年度に向けた取り組みについて
主な取組	①学校運営に関する承認 ・基本方針、重点目標、各学年の取り組み ②学校運営に関する意見 ・学校評価（保護者・児童・教職員アンケート） 【学校・家庭・地域との連携】 ③防災・安全安心をテーマにした取り組みの推進 引き渡し訓練、Jアラート対応の防災マニュアル作成、PTA を中心とした見守り運動、 ④生活習慣の育成について 家庭学習、あいさつ、言葉づかい 等 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑤ふるさと学習支援「城南っ子応援隊」の活動 ⑥登校見守りの呼びかけ

3 成果と課題、参考資料等

<成果>

① 地域・保護者の意見も取り入れながら、緊急災害対応や防災マニュアルについて話し合い、学校の取り組みを知っていただくとともに、今後の協力体制の足掛かりができた。

② アグリステーションを拠点とした3年黒豆栽培・1年餅つき大会などのふるさと体験学習、夏のフェスタ参加（学校・PTA）等ができ、多くの支援をいただけた。

<課題>

③ ふるさと学習は昨年度からの継続はできたが、さらに場所・人材等の開発に取り組みたい。地域の提供と学校の要望をすりあわせる部会等を、今後発足させる必要がある。

④ 学校運営協議会主催事業として、地域防災訓練や交通安全教室、親子活動を進める。

<参考資料>学校だより、城南っ子応援隊資料

(別紙様式4)

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	城南小学校運営協議会	会長名	西 潟 弘
実施内容 及び成果	<p><テーマ・目標> ～地域と連携した学校運営の推進～ 地域と学校の連携により、学校が「子どもが夢に出会い、大切に育て、広げるところ」になるよう、地域の教育力を活かした学校運営をすすめる。</p> <p><活動内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校運営方針の提案、承認 基本方針、予算、学校評価、研究推進について 等 2. 学校運営支援（地域人材、学校支援ボランティアの募集や連携） アグリステーションでの体験学習（1年、3年、PTA活動） クラブ活動講師 読み聞かせ 学校図書館整備 地域・歴史等の語り部 学級活動支援 等もお世話いただいた。 3. 登下校・地域での安全見守り活動 登下校見守り ネット社会の安全と城南小の実態について研修と協議 防災マニュアルの検討、引き渡し訓練・Jアラート訓練等の意見聴取と今後の地域連携のあり方協議（引き渡しから避難所運営等） 生徒指導について（いじめ、生活習慣等） 4. 城南地区まちづくり協議会と連携した事業の推進 夏のフェスタ協力（学校・PTA） 秋・春のサイネリア販売（苗・花鉢） 5. 児童クラブとの連携（情報交換・家庭学習のあり方の協議） 6. 地域との情報共有…学校だより、ホームページ配信等 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・保護者の意見も取り入れながら、緊急災害対応や防災マニュアルについて話し合い、学校の取り組みを知っていただくとともに、今後の協力体制の足掛かりができた。 ・アグリステーションを拠点とした3年黒豆栽培・1年餅つき大会などのふるさと体験学習、4年真南条川の水質調査、夏のフェスタ参加（学校・PTA）等ができ、多くの支援をいただけた。 		
今後の課題	<p><課題></p> <ol style="list-style-type: none"> ① ふるさと学習は昨年度からの継続はできたが、さらに場所・人材等の開発に取り組むたい。地域の提供と学校の要望をすりあわせる部会等を今後発足させる必要がある。 ② 学校運営協議会主催事業として、地域防災訓練や交通安全教室、親子活動を進める。 ③ PTA 活動と地域の連携について、取り組みが進むように調整を進める。 		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等			

古市小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

安全・安心な学校づくりを柱として、地域とともにこころ豊かで自立した児童を育む。

2 取組の内容

開催日	第1回平成29年 6月 2日(金) 9:25 ~ 12:10 第2回平成29年 8月29日(火) 16:00 ~ 17:30 第3回平成29年10月24日(火) 11:00 ~ 13:00 第4回平成30年 2月28日(水) 10:30 ~ 12:00
主な協議事項	①学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業について説明(規則等) ②学校運営協議会の組織体制、事業計画、研究テーマ、活動内容等について ③学校経営方針「安全・安心な学校づくり」、予算の承認について ④児童の健やかな成長を支える「学校と地域・保護者のより良い連携」について ⑤児童の学習・生活の様子と教育環境について ⑥本年度の学校教育活動(学校経営、学習活動、生徒指導)のふり返り
主な取組	①学校運営に関する説明と承認 ・経営方針、学校予算等について ②学校運営に関する意見 ・児童の様子、教育環境、学校評価等について 【学校・家庭・地域】との連携 ③学習に関すること クラブ活動(通年;お茶・お花・地域探訪)、グランドゴルフ大会(11月)、俳句教室(1月) ④安全に関すること 通学路通行自粛ビラ配布(6月、9月)校内安全点検(6月、10月)、地域内安全点検(8月) ⑤その他 上運動場芝生の保全整備(6月~10月)、通学合宿(10月)、義士祭(12月) 【地域】の願い実現に向けて ⑥地域の良さや特色を学ぶ「ふるさと教育」の推進(米作り、黒豆作り、生き物調べ、校区巡り、歴史探訪等) ⑦オープンスクールの充実(学校行事を含め7日、案内の全戸配布、幼稚園との連携) 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑧諸事業におけるまちづくり協議会と愛育班への協力依頼、連携推進 ⑨芝生の管理、竹林の伐採等、環境整備への協力依頼

3 成果と課題、参考資料等

- ①「命や安全の教育は『知・徳・体』の基本であり普遍的なもの、教育の基盤である」というご意見をいただいた。安全・安心な学校を土台に、学校・家庭・地域が一層連携・協力して推進することの大切さを確認できた。
- ②オープンスクールに多くの地域の方に来校いただけるよう、日数を増やしたり案内を広く配布したりした。「子どもたちの頑張る姿は地域の人に感動や元気を与えている」という高い評価をいただいている。今後も充実した取組を進めたい。
- ③古市地区には教育に活用できる「ヒト、モノ、コト」がたくさんある。コミュニティ・スクール事業のねらいを明確化し、ふるさと教育と関連づけて地域の特色を生かしていきたい。

(別紙様式4)

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	古市小学校運営協議会	会長名	市嶋弘昭
実施内容 及び成果	<p><主な協議事項></p> <p>①学校運営協議会（コミュニティ・スクール）推進事業について説明（規則等） ②学校運営協議会の組織体制、事業計画、研究テーマ、活動内容等について ③学校経営方針「安全・安心な学校づくり」、予算の承認について ④児童の健やかな成長を支える「学校と地域・保護者のより良い連携」について ⑤児童の学習・生活の様子と教育環境について ⑥本年度の学校教育活動（学校経営、学習活動、生徒指導）の振り返り</p> <p><主な取組></p> <p>①学校運営に関する説明と承認 ・経営方針、学校予算等について ②学校運営に関する意見 ・児童の様子、教育環境、学校評価等について 【学校・家庭・地域】との連携</p> <p>③学習に関すること クラブ活動（通年；お茶・お花・地域探訪）、グランドゴルフ大会（11月）、 俳句教室（1月）</p> <p>④安全に関すること 通学路通行自粛ビラ配布（6月、9月）校内安全点検（6月、10月）、地域内安全点検（8月）</p> <p>⑤その他 上運動場芝生の保全整備（6月～10月）、通学合宿(10月)、義士祭（12月） 【地域】の願い実現に向けて</p> <p>⑥地域の良さや特色を学ぶ「ふるさと教育」の推進（米作り、黒豆作り、生き物調べ、校区巡り、歴史探訪等）</p> <p>⑦オープンスクールの充実（学校行事を含め7日、案内の全戸配布、幼稚園との連携） 【学校運営協議会による学校運営への参画について】</p> <p>⑧諸事業におけるまちづくり協議会と愛育班への協力依頼、連携推進 ⑨芝生の管理、竹林の伐採等、環境整備への協力依頼</p> <p><成果></p> <p>・「命や安全の教育は『知・徳・体』の基本であり普遍的なもの、教育の基盤である」というご意見をいただいた。安全・安心な学校を土台に、学校・家庭・地域が一層連携・協力して推進することの大切さを確認できた。 ・オープンスクールに多くの地域の方に来校いただけるよう、日数を増やしたり案内を広く配布したりした。「子どもたちの頑張る姿は地域の人に感動や元気を与えている」という高い評価をいただいている。今後も充実した取組を進めたい。</p>		
今後の課題	<p>（課題等）</p> <p>・学校・家庭・地域が連携している事業が増えれば増えるほど、多忙な状況をつくり出している面もある。コミュニティ・スクール事業のねらいを明確化し、取組の内容を調整・整理することも必要である。</p>		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<p>・特になし</p>		

今田小学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

誇りに思う ふるさと今田

2 取組の内容

開催日	第1回 5月24日(水) 19:00～20:30 第2回 9月5日(火) 19:00～20:15 第3回 11月29日(水) 19:00～20:15 第4回 2月21日(水) 19:00～20:00
主な協議事項	①本年度の学校経営方針説明 ②コミュニティ・スクール事業推進日程 ③主な行事予定について ④ふるさと講演会「日本遺産伝承教室」(学校運営協議会主催事業)について ⑤見守り隊感謝の会(学校運営協議会主催事業)について ⑥学校評価について(学校関係者評価) ⑦本年度の取り組みの総括及び来年度の活動について
主な取組	①ふるさと講演会「日本遺産伝承教室」 ②見守り隊感謝の会 ③学校カレンダーの作成 ④携帯電話・スマートフォン等、情報機器利用のルール作りに関する下敷きの作成 【学校・家庭・地域との連携】 ⑤安全点検の共同実施(学校職員・PTA・学校運営協議会委員) ⑥オープンスクール・学校美化作業・運動会・学習発表会等行事への参加及び協力 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑦学校経営方針の承認 ⑧学校関係者評価

3 成果と課題、参考資料等

(成果)	①学校運営協議会の主催行事としてふるさと講演会「日本遺産伝承教室」を開催できた。 ②地域の方が参加出来る機会を多く持てたことで、学校に対する保護者や地域の理解が深まった。 ③学校の取り組みについて理解を深めてもらったことで、学校関係者評価が効果的に行えるようになった。 ④地域の実態を踏まえた、特色ある学校づくりが進んだ。
(課題)	⑤継続していくことに意味があると思うが、年数を経るに従って事業自体が形骸化してくる恐れがある。 ⑥学校運営協議会委員の負担が気になる。
参考資料	①日本遺産伝承教室報告チラシ

(別紙様式4)

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	今田小学校運営協議会	会長名	橋元 工
実施内容 及び成果	<p>○学校経営への参画</p> <p>・経営方針等の承認、学校評価の学校関係者評価をいただいた。このことにより、<u>地域に開かれた学校運営をすすめることができたと共に、地域の意見を取り入れた学校運営をすすめることができた。</u></p> <p>○学校行事への協力</p> <p>・オープンスクール・今田小懇談会・美化活動・今田小フェスティバル等参加いただいた。<u>実際の子どもの様子を目にする事で、委員の方達が、より学校に興味を持ってもらうことができた。</u></p> <p>○地域行事への参加・協力</p> <p>・今田小学校・今田地区合同運動会への参加、通学合宿への協力をいただいた。</p> <p>○安全点検の実施</p> <p>・学校運営協議会・教職員・PTAが連携して、校内の安全点検を行った。頂戴した意見を基に、<u>教育環境の改善・充実に図ることができた。</u></p> <p>○学校運営協議会主催事業の実施</p> <p>・ふるさと講演会（日本遺産伝承教室）</p> <p><u>（郷土愛の醸成）…今田小学生、保護者、地域の人々が、日本遺産の要因となった篠山市の伝統文化を知り、触れることにより、素晴らしいさを再認識し、郷土愛を育むことができた。</u></p> <p><u>（今田小学校と地域との連携）今田小学校で、地域に向けた学習活動を展開していくことで、地域に開かれた学校づくりをすすめていくことができた。</u></p> <p><u>（地域を元気に！）…日本遺産認定の丹波焼・デカンショ節がここ今田・篠山地区にあるということで、その貴重な地域資源を見直すきっかけとなった。</u></p> <p>・見守り隊活動及び見守り隊へのお礼の会</p> <p><u>子ども達は、身近で自分のお世話をしてくれている人々の存在に気付き、感謝しようとする気持ちを持つことが出来た。</u></p> <p>・広報誌（パンフレット等）の発行</p> <p><u>伝承教室に来られなかった方達にも、日本遺産について興味を持ってもらうことができた。</u></p>		
今後の課題	<p>・コミュニティ・スクール推進事業については、まだ理解や協力・支援が十分いただけていない状況である。これからも、地域の幅広い世代に、学校に来ていただく場をつくっていききたい。又、広報活動を充実させ、事業に楽しく参加していただいている様子を伝えていきたい。</p> <p>・小学生（小学校）が、地域への社会貢献をより広げていくために、地域自治会への働きかけ（理解・支援）や中学校との連携を更に進めていきたい。</p> <p>・学校運営協議会の事業で学んだ、「日本遺産」「デカンショ節」「日本六古窯」等を、小学校の教育課程に位置づけて、児童への学習を深めていきたい。</p>		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<p>・コミュニティ・スクールだより</p>		

篠山中学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1. 研究テーマ

共に汗して創り支える学びの環境「さ・さ・や・ま」
～「さ」わやか、「さ」さえ合い、「や」くどう、「ま」じめ～

2. 取組の内容

開催日	第1回 5月10日(水) 19:00～20:30 第2回 6月10日(土) 7:00～9:00 第3回 11月4日(土) 7:00～9:00 第4回 2月22日(木) 19:00～20:30
主な協議事項	①平成29年度学校経営方針、学校評価項目の承認 ②今年度の学校運営協議会の活動計画 ③地域での生徒の様子について ④学力調査を受けて作成した「篠山中学校学力きらめきプラン」について ⑤生徒アンケート、保護者アンケートから見えてくることについて ⑥学校評価について ⑦今年度学校運営協議会の取り組みについて ⑧来年度学校運営協議会の取り組みの方向について
主な取組	【学校教育活動への参画】 ①学校経営方針、学校評価項目について意見聴取 ②学校関係者評価 ③体育祭、文化祭への参加 【学校・家庭・地域】との連携 ④毎月発行の学校だより、リニューアルしたホームページによる学校活動の広報 ⑤学校だよりの全保護者、学校運営協議会委員、民生児童委員、主な地域の方への配付 ⑥学校だより、ホームページによる学校運営協議会の活動の広報 ⑦環境美化作業への参加呼びかけ ⑧生徒、保護者、地域の方、学校職員参加による環境美化作業(草刈り、草引き、倒木の処理、花の苗植え) 【地域】の願い実現に向けて ⑨地域の人材活用(PTA講演会で本校卒業生を招聘)

3. 成果と課題、参考資料等

- ①学校経営方針、学校評価項目について適切な助言を行うことができた。
- ②学校だより、ホームページを通して、学校教育活動並びに学校運営協議会の活動を広報することができた。
- ③環境美化作業を生徒・保護者・地域に参加を呼びかけた結果、6月の活動では90名、11月の活動には120名の参加があった。生徒、保護者、地域の方が共に汗を流し、言葉を交わしながら作業をする姿を見ることができた。
- ④敷地が広いために草刈りが大変困難であったが、年2回の作業で助けることができた。
- ⑤授業様子を見学するなど、日常の生徒の様子を参観することを通して意見を述べる機会をつくる必要がある。
- ⑥卒業生など、地域の人材を教育活動に生かすように橋渡しをする必要がある。

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	篠山中学校運営協議会	会長名	熊谷 満
実施内容 及び成果	<p>1 実施内容</p> <p>(1) 第1回学校運営協議会 5月10日(水) 19:00~20:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針及び学校評価項目の承認 ・運営協議会年間計画の決定 <p>(2) 第2回学校運営協議会 6月10日(土) 7:00~9:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り、草引き、花の苗植えを行った。 ・PTA、生徒、地域に呼びかけ、90名の参加があった。 <p>(3) 第3回学校運営協議会 11月4日(土) 7:00~9:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り、草引き、倒木の伐採、花の苗植えを行った。 ・PTA、生徒、地域に呼びかけ、120名の参加があった。 <p>(4) 第4回学校運営協議会 2月22日(木) 19:00~20:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート、保護者アンケート、学校評価をもとに、学校関係者評価を実施した。 ・本協議会の取り組みの反省と来年度の方向性について検討した。 <p>2 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営について率直な意見を聴取することができた。 ・環境美化作業については、本協議会の呼びかけにより多くのPTA会員、生徒、地域の方に参加いただき、輪が広がった。スムーズに作業ができたと同時に、良き交流の機会となった。 ・学校だより、ホームページなどにより、保護者や地域に学校の教育活動を発信することができた。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、授業参観、オープンスクールなど、生徒の日常の学校生活を見る機会を持つ必要がある。 ・環境美化作業は大きな成果をあげることができたが、委員の意見を生かした学校運営を十分に行うことができなかった。 ・委員に自由に学校の様子を見ていただけるように、年間計画を整備する必要がある。 ・地域で活躍する方を授業や行事等に招聘するなど、地域の人材を学校で活用する取り組みを進めていきたい。 		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりによる活動の広報 ・ホームページによる活動の広報 		

篠山東中学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

「広めよう つなごう 地域の東中応援団Ⅱ」

2 取組の内容

開催日	第1回 5月16日(火) 19:00~20:10 第2回 6月21日(水) 15:00~16:30 第3回 7月12日(水) 13:30~16:00 第4回 11月7日(火) 16:00~17:30 第5回 2月22日(木) 19:30~20:40
主な協議事項	① 組織の確認、事業計画、研究テーマ、活動内容等 ② 今年度の学校経営目標・予算の承認について ③ 学校運営協議会の年間活動計画について ④ 学校運営協議会主催事業について(創立20周年記念事業について) ⑤ 「地域のエキスパート」地域人材の有効活用について ⑥ 学校評価について(学校関係者評価) ⑦ 地域活動との連携について ⑧ 学力向上について
主な取組	①学校運営に関する承認 ・基本方針、学校予算について等 ②学校運営に関する意見聴取 ・生徒について、学校評価等 【学校・家庭・地域との連携】 ③保護者、地域への情報発信 ・HP、学校だより(年4回は全戸配布 毎月保護者、自治会長へ配布) ・主な学校行事の広報 6月21日(水)花いっぱい活動、校内安全点検 9月9日(土)体育祭 各自治会にポスター掲示 10月11日(水)~13日(金)オープンスクール PTA 講演会(英語漫才) 10月28日(土)文化祭 各自治会にポスター掲示 11月7日(火)花いっぱい活動 11月14日(火)授業公開 ④地域の人材発掘 「地域のエキスパート」推薦、有効活用 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑤創立20周年記念事業の企画運営 7月12日(水) 13:30~16:00 ⑥ふるさと朝会を校章の発案者を講師に実施 11月6日(月) ⑦人権学習を地域講師により実施「酒造出稼ぎの門戸が開かれるまで」

3 成果と課題、参考資料等

成果

- ①創立20周年記念事業を実施し、統合時の地域の思いや20年の歩みを振り返ることで、郷土愛や愛校心を育むことができた。
- ②学校支援活動を定例化していくことにより、地域住民が参加しやすくなった。
また、委員さんを介して地域の方々へ輪が広がった。
- ③地域講師を招聘し地域教材を導入することによりふるさと教育の推進につながった。

課題

- ①昼間に協議会を持つことは委員さんの都合がつけにくく、日程調整が難しい。また、欠席者が多くなる。
- ②地域の資源としてすでにバンク登録された「地域のエキスパート」を有効活用するための仕組み
また、地域住民や教職員に負担をかけずに取り組む仕組みをつくること。

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	篠山東中学校運営協議会	会長名	羽田 登喜雄
実施内容 及び成果	<p>1 実施内容</p> <p>(1) 学校運営への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校目標、経営基本方針、指導の重点の承認 ・授業参観、生徒・保護者アンケート、学力向上プランについて意見聴取 ・学校関係者評価（学校評価について意見聴取） <p>(2) 学校教育活動の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより（年4回校区全戸配布、全自治会長に毎月配布） ・体育祭・文化祭ポスターの全自治会掲示・ ・ホームページの更新 ・コミュニティスクールの広報、学校ボランティア募集 <p>(3) 地域の人材発掘・有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域のエキスパート」の推薦、有効活用 <p>(4) 学校支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい活動（6月、11月） ・学校安全点検（6月） ・「ふるさと朝会」の講師（11月） ・人権学習、ふるさと教育の講師（1月） <p>(5) 創立20周年記念事業（7月12日記念式典）</p> <p>2 成果</p> <p>(1) 創立20周年記念事業を実施し、統合時の地域の思いや20年の歩みを振り返ることで、郷土愛や愛校心を育むことができた。</p> <p>(2) 学校だより、ホームページなどの広報活動が活発にできた。</p> <p>(3) 地域が学校に望んでおられること、期待されていることなどが分かった。</p> <p>(4) 学校支援活動を定例化していくことにより地域住民が参加しやすくなった。また、運営協議会委員を介して、地域の方々へ輪が広がった。</p> <p>(5) 地域講師を招聘し地域教材を導入することによりふるさと教育の推進につながった。</p>		
今後の課題	<p>(1) 昼間の協議会を持つことは委員さんの都合がつけにくく、日程調整が難しい。また、欠席者が多くなる。</p> <p>(2) 学校支援活動をより充実させていくにはどうすればよいか。</p> <p>(3) 授業や学校行事など、生徒の日頃の様子を見ていただく機会を持つことが難しい。</p> <p>(4) 地域の資源としてすでにバンク登録された「地域のエキスパート」を活用するための仕組み、また、地域住民や教職員に負担をかけずに取り組む仕組みをつくること。</p>		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の活動を載せた学校だより 		

西紀中学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

安全安心を基盤に、生徒が生活・学習を創造するコミュニティ・スクール
ワイ（夢）・ワイ（やりがい）・ワイ（やすらぎ）語り合うチーム西紀中学校

2 取組の内容

開催日	第1回 5月26日（金） 15:30～ 第2回 8月25日（金） 16:30～ 第3回 11月10日（金） 16:00～ 第4回 2月19日（月） 15:00～
主な協議事項	①学校経営方針，スクールプラン ②コミュニティ・スクール推進事業について説明（規則等），組織の確認 ③四つの力委員会，研究テーマ，活動計画 ④具体的な教育活動（学習・教育支援活動，地域貢献活動，安全安心活動の視点から） ⑤学力・生活習慣状況調査について ⑥学校評価について
主な取組	①学校運営に関する承認 ・基本方針，スクールプラン ②学校運営に関する意見 ・生徒について，学力生活習慣状況調査，学校評価 ③四つの力委員会（生徒，教職員，保護者，地域の方による学校のあり方の検討・活動推進） 【学校・家庭・地域との連携】 ④地域貢献活動 ・さまざまなボランティアへの参加，スポーツ祭等への参加と運営補助 ⑤学習・教育支援活動 ・大学生によるキャリア教育と学習支援 ・プロから学ぶ講演会（案内は校区内全戸に配布） ⑥安全安心活動 ・AED研修会，情報に関する講演会 ⑦HP，学校だよりによる広報活動 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ・支援ボランティアによる活性化 体育祭でのデカンショ踊り・西紀音頭の実施，大学生による学習会とスポーツ交流会の実施 地域の方による読み聞かせ，運営協議会による学校安全点検

3 成果と課題、参考資料等

（成果）

- ①学校運営協議会の活動が活発になり，学校と地域とのつながりが強まった。
- ②ボランティア，地域貢献活動の教職員の引率指導等の負担軽減となった。
- ③生徒にとって，地域に貢献できる喜びを感じる機会となり，参加意欲が高まった。
- ④PTAにも学校の様子をよくわかっていただく機会となった。
- ⑤主体的に子どもたちが活動できる仕組みづくりにつながっている。
- ⑥地元で活躍する若い世代との交流や地域貢献活動を通して，生徒たちが未来像を感じとり，愛郷心を高めている。
- ⑦生徒数の急減に向け，多様な集団の中で主体性を発揮させる機会となる。また，教職員定数の減少に向け地域支援の促進となる。

（課題）

- ⑧授業，学習支援活動（地層学習会・解説ガイド，がんばりタイム）へ更にひろげていく。
- ⑨活動中の事故やけがの防止と対策など，危機管理を確保する。
- ⑩学校行事との連携をさらに図っていく。
- ⑪地域行事への積極的な生徒参加をさらに促していく。
- ⑫化石を地域教材として使いたいので，市教委にもバックアップいただきたい。

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	西紀中学校運営協議会	会長名	細見 悟
実施内容及び成果	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営等に関する承認、意見 ○四つの力委員会を開催し、生徒・保護者/地域代表者・教職員で学校づくりについて話し合う。 ○地域貢献活動（ボランティアへの参加，スポーツ祭等への参加と運営補助） ○学習・教育支援活動 <ul style="list-style-type: none"> ・大学生によるキャリア教育と学習支援 ・プロから学ぶ講演会（案内は校区内全戸に配布） ○安全安心活動（AED研修会，情報に関する講演会） ○HP，学校だよりによる広報活動 ○支援ボランティアによる活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭でのデカンショ踊り、西紀音頭の実施 ・大学生による学習会とスポーツ交流会の実施 ・地域の方による読み聞かせ ・運営協議会による学校安全点検 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校運営協議会の活動が活発になり，学校と地域とのつながりが強まった。 ②ボランティア，地域貢献活動の教職員の引率指導等の負担軽減となった。 ③生徒にとって，地域に貢献できる喜びを感じる機会となり，参加意欲が高まった。 ④PTAにも学校の様子をよくわかっていただく機会となった。 ⑤主体的に子どもたちが活動できる仕組みづくりにつながっている。 ⑥地元で活躍する若い世代との交流や地域貢献活動を通して，生徒たちが未来像を感じとり，愛郷心を高めている。 ⑦生徒数の急減に向け，多様な集団の中で主体性を発揮させる機会となる。また，教職員定数の減少に向け地域支援の促進となる。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・授業，学習支援活動（地層学習会・解説ガイド，がんばりタイム）へ更にひろげていく。 ・活動中の事故やけがの防止と対策など，危機管理を確保する。 ・学校行事との連携をさらに図っていく。 ・地域行事への積極的な生徒参加をさらに促していく。 ・化石を地域教材として使いたいので，市教委にもバックアップいただきたい。 		
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りの発行 ・学校ホームページの積極的な更新 		

丹南中学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

- ・安心安全な学校づくりを、学校と地域が一体となって進めて行く学校
- ・地域の教育力を学校教育に反映させ、地域とともに生徒の育成及び家庭教育力の向上を目指す学校

2 取組の内容

開催日	第1回 5月17日(水) 13:30～15:30 第2回 10月4日(水) 13:30～15:30 第3回 2月20日(火) 13:30～15:30
主な協議事項	①学校経営方針について ②安全教育について ③登下校の安全対策について ④学校環境整備について ⑤情報機器の取扱いについて ⑥学校評価について
主な取組	①登下校見守り活動 ②通学路の安全対策 ③学校環境整備活動 【学校・家庭・地域との連携】 ⑤ブックサポーター活動 ⑥登下校交通立ち番 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑦研究授業・日頃の授業参観 ⑧体育大会・文化祭・親子活動等の各行事への参加

3 成果と課題、参考資料等

(成果) ①校区内の通学路安全状況を調査し、各自治体へ対策の相談・依頼等をしていただいた。 ②研究授業発表会にも参加いただき、本校の研究をよく理解していただいた。 ③学校環境整備活動により、大きな予算をかけることなく整備できた。次年度も継続したい。 ④図書活動ボランティアにより、図書室の環境整備や新刊や推薦図書の紹介をしていただき、生徒の読書意欲の向上に繋がった。 (課題等あれば) ⑤学校主導になっているので、コミュニティスクール主導にしていきたい。

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	丹南中学校運営協議会	会長名	小前扶元
実施内容 及び成果	<p>研究テーマ</p> <p>① 安心安全な学校づくりを、学校と地域が一体となって進めて行く学校</p> <p>② 地域の教育力を学校教育に反映させ、地域とともに生徒の育成及び家庭教育力の向上を目指す学校</p> <p><成果></p> <p>① 学校運営協議会を毎学期実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目に今年度の学校経営方針、予算について説明し意見を求めると共に、今年度の研究の取組について説明をした。 ・毎回最初に授業参観を実施し、研究の取組の実践状況を見てもらい、進捗状況について報告を行った。また、体育大会や文化祭等の各行事に参加いただいた。 <p>② 学校の環境整備活動の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南館校舎1階東側の石畳の破損修復、体育館横の植樹の崩れかけの石垣の修復について、地域在住の専門家に手伝ってもらいながら行った。 <p>③ 通学路の安全対策の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の危険箇所を出し合い、対策を検討し当該地区の自治会長に連絡し、改善の協力をしていただいた。 ・登下校の見守りやあいさつ運動を行うと共に、各自治体を通して啓発依頼等を行った。 <p>④ ブックサポーター活動の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域方々が、図書室の環境整備や推薦図書を紹介等読書の啓発を行っていただいた。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校主導型になっているので、運営協議会主導型の体制を構築していきたい。 ・校区が広く、通学路の危険箇所全てにおいて改善検討ができていない。今後も継続し、地道に取組を進めていくことが必要である。 ・学校運営協議会委員を通じて、各地区に見守り隊を増やしていきたい。 ・SNSの危険性について、地域への浸透を図りたい。 		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全、防犯等各地域の見守り活動について。 ・ブックサポーター活動について。 ・学校環境整備について。 		

今田中学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

地域とともにある学校づくりを通して、ふるさと今田に貢献する心を培う。
～「届けよう声援！ 今田を担う若人たちへ」

2 取組の内容

開催日	第1回 5月17日(水) 19:00～20:30 第2回 7月13日(木) 13:40～15:30 第3回 11月16日(木) 13:30～15:10 第4回 2月 8日(木) 19:00～20:30
主な協議事項	①学校経営方針、コミュニティ・スクール推進事業について ②組織の確認、事業計画、予算、研究テーマ、具体的な活動内容について ③学校関係者評価について ④コミュニティ・スクール応援事業のパンフレット作成について ⑤創立70周年記念空撮の実施について ⑥創立70周年記念品の作成・配布について ⑦本年度の成果と課題について ⑧次年度の取組の方向性について
主な取組	①学校経営方針についての説明、意見交換、承認 ②コミュニティ・スクール応援事業の企画・運営 【学校・家庭・地域との連携】 ③創立70周年記念空撮(9月9日実施)の企画・運営 ④体育大会、文化祭等の学校行事への協力体制確立 ⑤コミュニティ・スクール応援事業パンフレット発行(5月) ⑥コミュニティ・スクールだより発行(1月) 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑦トライやる発表会、オープンスクール等への参加 ⑧学校関係者評価の実施

3 成果と課題、参考資料等

- ①コミュニティ・スクールの取組を地域へ発信することができた。
- ②コミュニティスクール研修会等に積極的な参加があった。
- ③今田小学校と連携した取組について検討することができた。
- ④年度当初に年間の活動計画を検討することによって、委員の意識が高まった。
- ⑤次年度以降の継続的な取組を目指し、目的を絞り、見通しを持って企画することが重要である。

※参考資料等

- コミュニティ・スクール応援事業パンフレット
- コミュニティ・スクールだより
- 創立70周年記念品(クリアファイル)

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	今田中学校運営協議会	会長名	森本芳弘
実施内容 及び成果	<p>○研究テーマ</p> <p>「地域とともにある学校づくりを通して、生徒にふるさと今田に貢献する心を 培う」 ～届けよう声援！ 今田を担う若人たちへ～</p> <p>学校運営協議会を中心とした地域との連携の在り方を研究し、生徒にふるさと今 田を誇りに思う心を培うとともに、地域とともに歩もうとする意識を育てる。学校 運営協議会が学校行事等に協力していく活動を中心にして研究テーマに迫る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会やコミュニティ・スクール事業について地域に広く発信した。 (コミュニティ・スクール協賛事業パンフレット、コミュニティ・スクールだよりの発行) ・学校行事との関連性を大切にし、コミュニティ・スクール協賛事業として保護者 や地域との架け橋となるよう活動を推進した。 ・学校運営協議会が主体となって創立70周年記念人文字空撮を実施し、記念品を 地域住民に配布した。 ・学校関係者評価委員会を兼務することにより、よりよい学校運営のあり方につ いて協議するなど、協力体制を構築できた。 		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を見通した活動計画を当初に策定することにより、委員が何をすればよいの か、どのような目標で活動していくのか共通理解することが重要である。 ・地域の方に学校の活動を知っていただき、気軽に学校へ足を運んでいただけ るよう、さらにコミュニティ・スクール事業のあり方を検討したい。 		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールだより ・創立70周年記念クリアファイル 		

篠山養護学校 学校運営協議会の取組のまとめ

1 研究テーマ

「地域と連携した特色ある学校運営のあり方」

2 取組の内容

開催日	第1回 5月26日(木) 19:00~20:20 第2回 7月14日(金) 13:30~15:10 第3回 11月13日(月) 13:30~15:05 第4回 2月16日(金) 19:00~20:20
主な協議事項	①平成29年度学校経営方針・教育活動の状況等について ②学校運営協議会の組織編成等について ③今年度の事業計画について ④校内安全点検及び校内外の環境について ⑤PTAデカンショバザー、新春ふれあい交流会等の参画について ⑥来年度の事業計画について ⑦学校関係者評価について
主な取組	①組織編成及び本年度の事業計画の検討 ②来年度以降の事業計画案の検討 ③学校の状況・施設等の見学 【学校・家庭・地域】との連携 ④福祉避難所指定への取り組み(避難所設営に向けた研修) ⑤前沢田自治会との交流(納涼祭・花の移植・避難訓練・昔遊び交流会) 【学校運営協議会による学校運営への参画について】 ⑥学校経営方針等の承認 ⑦学校運営協議会による校舎内外の環境美化作業及び校内安全点検の実施 ⑧PTAデカンショバザー、新春ふれあい交流会の企画・運営への参画 ⑨学校関係者評価の実施

3 成果と課題、参考資料等

- ①組織を立ち上げ、完全に軌道に乗ったまでには至ってはいないが、昨年度以上に活動の輪が広がり、来年度以降の方向性も確認できた。
- ②学校運営や教育活動に対する意見やアドバイスを頂き、学校を全面的にバックアップして頂ける組織に成長してきている。また、特別支援学校の実態を理解して頂く機会が広まっている。
- ③校区が市内全域となるため、地域(校区)との連携という点では課題が多い。
- ④長期的な展望の中で、本事業の継続及び充実と、学校運営協議会の趣旨及び事業の地域や保護者への更なる啓発が必要である。

※参考資料等(別紙)

写真(PTAデカンショバザー 前沢田地区との交流 新春ふれあい交流会) 美化作業案内

平成29年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	篠山養護学校運営協議会	会長名	森井 隆弘												
研究内容及び 研究成果	<p>1 研究テーマ 「地域と連携した特色ある学校運営のあり方」</p> <p>2 取組の内容等</p> <p>(1) 開催日</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>5月26日(金)</td> <td>19:00~20:20</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>7月14日(金)</td> <td>13:30~15:10</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11月13日(月)</td> <td>13:30~15:05</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>2月16日(金)</td> <td>19:00~20:20</td> </tr> </table> <p>(2) 研究・取り組み内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①組織編成・学校経営方針等の承認 ②学校関係者評価の実施 ③来年度以降の事業計画案の検討 ④校内安全点検及び学校の状況・施設等の見学 ⑤PTA デカンショバザー、新春ふれあい交流会の企画・運営への参画 ⑥前沢田自治会との交流(納涼祭・花の移植・避難訓練・昔遊び交流会) ⑦学校運営協議会による校舎内外の環境美化作業 ⑧福祉避難所指定への取り組み(避難所設営に向けた研修) <p>(3) 成果</p> <ol style="list-style-type: none"> ①組織を立ち上げ、完全に軌道に乗ったまでには至ってはいないが、昨年度以上に活動の輪が広がり、来年度以降の方向性も確認できた。 ②学校運営や教育活動に対する意見やアドバイスを頂き、学校を全面的にバックアップして頂ける組織に成長してきている。また、特別支援学校の実態を理解して頂く機会が広がっている。 			第1回	5月26日(金)	19:00~20:20	第2回	7月14日(金)	13:30~15:10	第3回	11月13日(月)	13:30~15:05	第4回	2月16日(金)	19:00~20:20
第1回	5月26日(金)	19:00~20:20													
第2回	7月14日(金)	13:30~15:10													
第3回	11月13日(月)	13:30~15:05													
第4回	2月16日(金)	19:00~20:20													
今後の研究課題	<p>※校区が市内全域となるため、地域(校区)との更なる連携強化をどのように進めていくか。</p> <p>※長期的な展望の中で、本事業の継続及び充実と、学校運営協議会の趣旨及び事業の地域や保護者への更なる啓発に、どのように取り組んで行くのか。</p> <p>※来年度、学校運営協議会主催の「保護者何でもトークショー」の開催、「学校応援団(ボランティア)の募集・組織化を実施していく予定である。</p>														
学校サイボウズによる情報発信の成果物等	<p>写真(PTAデカンショバザー 前沢田地区との交流 新春ふれあい交流会) 美化作業案内</p>														

